

愛媛大学大学院農学研究科 研究シーズ集（研究者情報）

氏名	大橋 広明	専攻	食料生産学
		コース	農業生産学
職名	助教	専門分野	蔬菜花卉学
メールアドレス	ohashi@agr.ehime-u.ac.jp	その他連絡先	089-946-9817
研究課題	野生植物等の園芸的利用を目的とした、増殖・育種・栽培などに関する研究		
キーワード	野生植物・シコクカッコソウ・繁殖・栽培・育種・組織培養		

研究内容：

栽培植物は、すべて野生植物から栽培化・育種などがなされてきている。これらのうち、食用作物では比較的古い時代に栽培化されたものが多く、近年に栽培化されたものは少ないが、観賞用植物には、比較的新しく栽培化されたものも多く、現在でも世界中で新たな観賞用植物が見いだされ、利用や栽培化が行われている。

日本には 7,000 種以上の野生植物が存在するとされ、世界では 27 万種、未発見のものも多くあると推定されている。一方で、絶滅の危機にある植物も多く、日本では 2,000 種以上について絶滅が危惧されている。こうした野生植物の中には、人を惹きつける魅力があるために自生地から採取されて激減した植物、余り知られていないが魅力的な植物、食用や薬用などに利用できるもののほとんど栽培化されていない植物など、様々なものがある。そこで、県内外の希少植物や園芸的需要が多い野生植物について、優良系統の育成や増殖方法の確立などを通じ、増殖個体の供給による野生個体採取の抑制を図ること、あるいは大量増殖方法が確立されていない野生植物やマイナーな園芸植物の大量増殖方法の確立などを目的として研究を行っているほか、中小種苗会社、地域活性化を目指した自治体等への協力などを目的としても、いくつかの植物について取り組んでいる。

1. シコクカッコソウ

愛媛県指定の特定希少野生動植物の一つであるシコクカッコソウについて、交配による花色を中心とした変異の拡大、倍数性育種、組織培養による大量増殖方法などを行ってきた。交配によって、花色や花型の変異拡大が見られるとともに、花色分析などの結果を基にした交配で、従来見られなかった色素を主要色素とする個体が得られ、これまでに見られなかった新規花色個体が得られてきたほか、倍数性育種によって、花冠裂片幅の拡大などが見られ、優良個体育成に有効であることなどが明らかになってきている。

また、シコクカッコソウの豊富な花色を持つ特徴を生かした種間雑種の作出も平行して進め、多花性の種間雑種が得られる交配組み合わせに注目し、新たな園芸植物の育成も進めている。

2. その他野生植物等

県内外の希少植物や園芸的需要が多い野生植物、大量増殖方法が確立されていない園芸植物などの増殖方法の確立など目的に、数種について組織培養による増殖を中心に、種子繁殖や一般的な栄養繁殖方法の利用なども含めて、観賞用植物としての利用を最終的な目的として研究を行っている。

また、鑑賞用に限らず、愛媛県在来の地方野菜である「ていれぎ」の湧水に依存しない簡易的な栽培方法・無農薬栽培方法の検討、山菜や健康食品としての利用なども期待できる野生植物について、栽培方法や増殖方法などの確立を目的とした試験などにも取り組んでいる。

提供可能な資源・技術・その他

プロジェクト研究希望テーマ

植物の繁殖・育種・栽培等